萬松寺新聞 The news of Bansho-ji temple [Hakubi report]
萬松寺 はくび通信

萬松寺の不動明王像は、立ち姿の石像。先の大戦、また歳月によって劣化したお姿に、歴史の重みを感じます（非公開）。不動明王は忿怒のお姿で厳しい表情をされているものですが、萬松寺の不動明王像も一切の悪魔を降伏させるような威勢と神秘的な尊さを備えた表情をされています。そして「身代り不動」と呼ばれ親しまれ、実は織田信長公に非常にゆかり深いお不動様でもあります。

萬松寺蔵「身代不動明王像」（非公開）　写真：永谷正樹

織田信長公ゆかり

身代り不動明王

五月二十八日（木）は春期不動大祭

一五七〇年、信長公は越前の朝倉氏を攻略した帰り道、琵琶湖北で鉄砲の名手・杉田善住坊に狙い撃ちをされました。その二発の命中弾は、たまたま胸にしまっていた「干餅（＊昔の保存食で非常に固い餅）」に当たり、かすり傷のみで難を逃れたと言います。この干餅は萬松寺の和尚からもらい受けたもので、信長公が日頃より信心深かった不動明王様のご加護によるものと言い伝わるようになりました。

絵：平松礼二

そのおよそ四十年後、徳川家によって天下統一がされ、尾張では加藤清正公によって名古屋城築城が進められておりました。清正公は、信長公を非常に崇拝していた人物。宿をとっていた萬松寺でたまたまこの話を聞き受け、お不動様を「身代り不動」と名付け毎日のように礼拝したと言われております。それ以降、門前の茶屋で売っていた餅までも「身代り餅」と称され、災難厄除けにと争って賞味されたそうです。お不動様には現在も、厄除祈願や交通安全祈願、そのお礼参りに訪れる人が途絶える事はありません。

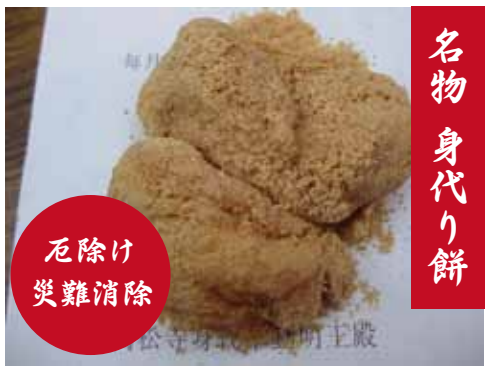
不動堂・稲荷堂再建の為、工事期間中のお参りは本堂にてお願い致します。また本年の春期不動大祭は本堂で行います。

縁日、不動明王真前で行われる護摩焚きの様子。護摩木を釜に入れ燃やし、仏の智慧の火を以て皆様の煩悩（苦の根元）を焼き浄め、大厄を消除します。

＜護摩木祈願＞ 縁日に一本ずつ読み上げをし、お焚き上げ致します。

●毎月二十八日は縁日

名物 身代り餅



毎月二十八日はお不動様の縁日、境内では信長公の窮地を救った「干餅」にちなんだ「身代り餅」が参拝者に振る舞われます。きなこがたっぷりまぶされた、つきたての杵つき餅は絶品。午後六時～無料で配布されます。

この餅つきは、昭和四十年代頃から始まり、一度も休む事なく、商店街の方たちによって毎月行われています。お餅を食べたおかげで「あわやの事故を免れた」と毎月訪れる人も多く、参道には長蛇の列が出来ます。なお再建工事中も実施される予定です

●こちらも好評です。

新名物

福祉施設で生産されているこちらのお餅は、ご祈祷をされ「身代り餅」として境内にあるお土産やチャンディで販売されています。

万松寺駐車場＆万松寺パーキングがさらに便利に!

駐車場精算機でクレジットカードが使用できます!

VISA MasterCard JCB NICOS Diners Club International DC UFJ Card AMERICAN EXPRESS MUFG CARD ご利用いただけるクレジットカード

カードを入れるだけ!サイン不要の簡単精算

楽天Edy タッチるすだけで簡単精算!
電子マネー「楽天Edy」も使えます!

★24 時間最大（平日：1,100 円　土日祝：1,500 円）

24時間 年中無休

● 昼間（8：00～20：00）100 円/15 分
● 夜間（20：00～8：00）50 円/30 分

■旧券の交換は管理事務所（万松寺ビル北館１階）または万松寺境内の受処へ。

【お問合せ】052-251-4543（9 時～ 18 時）

ご祈祷・供養は 萬松寺

◆十一面観世音菩薩：先祖供養、水子供養
◆身代り不動明王：厄除け、無病息災、身体健全 病気平癒、災難消除
◆白雪稲荷：商売繁盛、家内安全

各種ご祈祷を受け付けております。
ご祈祷の受付は午前10時～4時半まで。

❖ 5月28日 身代り不動明王「春期不動大祭」
❖ 毎月28日はお不動さんの縁日
午後六時～、境内にて織田信長公ゆかりの由緒を伝える「身代り餅つき」が行われ、参拝客の方々に振舞われます。

亀嶽林 萬松寺
お問合せ TEL 052-262-0735

不動堂・稲荷堂工事期間中、からくり人形『信長』は休演させていただきます。尚、お参りは本堂にてお願いします。

発行：萬松寺　〒460-0011　名古屋市中区大須３－２９－１２　TEL. 052-262-0735

不動堂・稲荷堂 奥の院の再建

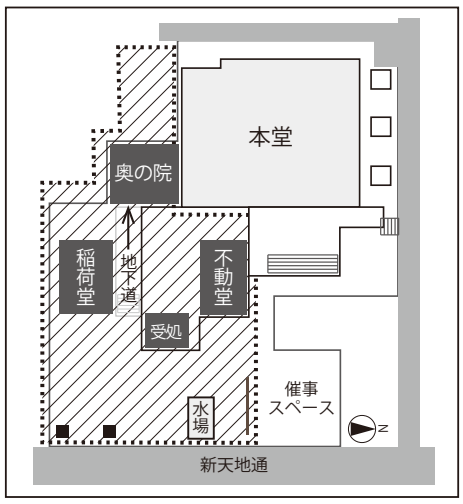
五月初旬工事スタート 完成は平成二十九年春頃予定

新しいお堂のイメージ

皆様にご愛顧いただいておりました現在の萬松寺ですが不動堂、稲荷堂、信秀公墓碑のある奥の院の建替を致します。昭和二十年三月十二日、第二次世界大戦の名古屋大空襲により、大須地域一円が焦土と化し、当山もその運命を共にしました。戦後の復興期に不動堂・稲荷堂を再建した後、平成六年に本堂の再建を致しましたが、耐震などの問題から戦後復興期に建替えた部分を、再び建て直す事に致しました。新しいお堂は地上五階・地下二階、商店街の景観とマッチした構造で建造予定。二階部分にはコンサートも出来る多目的大ホールを備え、地下には納骨堂が完成する予定です。また新天地通りに面する部分は、ご参拝の方や大須商店街の益々の繁栄を願い「龍」をモチーフにしたデザインを検討しております（イラストはイメージ）。

工事期間中のお参りは本堂にてお願い致します。尚、本堂は工事の対象ではありませんが「からくり人形　信長」は工事期間中休演させていただく予定です。

工事対象となる諸堂
◆不動堂　◆稲荷堂　◆奥の院



斜線枠内が今回の工事区画です。

工事期間中はご不便をお掛けする事になりますが、ご理解の程、お願い申し上げます。

新しいお堂のイメージ

萬松寺録

二十一代目の春姫様決定と想いを引き継ぐ決意

去る四月八日、当山本堂にて、名古屋城文化フォーラム主催による「春姫道中」第二十一代春姫のお披露目認定式が行われました。二十一代目の春姫様・銅傳美祐（どうでんみう）さんは十九歳の大学生。特技の日本舞踊が本当にあでやかでした。

また春姫認定式の前には、名古屋城文化フォーラムの代表を務められ「春姫道中」を自ら企画・立案、総合プロデューサーとして二十年にわたりイベントを遂行されてきた夢童由里子（むどうゆりこ／享年七十一歳）さんの追善供養も執り行わせて頂きました。夢童さんは今年三月二十一日（土）、心不全のため永眠されました。京都出身の造形作家である夢童さんは大須観音境内にあるからくり人形をはじめ数多くの作品を手がけられましたが、名古屋城本丸御殿の早期復元を呼びかけるこの市民団体の代表を務めながら地域に根差した文化活動も続けておられました。本丸御殿の機運を高めようと一九九五年から始めた「春姫道中」は初代尾張藩主の正室・春姫の嫁入りを再現する行列で、菩提寺である当山でも毎年新しく決まった春姫様の認定式を行っていただいておりました。名古屋城文化フォーラムさんは、今後も夢童さんの想いを継いで「春姫道中」を続けていきたいそうです。

名古屋文化を牽引された、情熱家の夢童さん。心よりご冥福お祈り申し上げます。

発行：亀嶽林 萬松寺　〒460-0011　名古屋市中区大須３-２９-１２　TEL.052-262-0735